

あなたと議会をむすぶ

ぎかい広報誌



私たちの

# しょうわ 町議会

2007

No

132

1月26日号

## 無病息災を願って!



### ● 12月定例議会

発行 / 山梨県昭和町議会  
〒409-3880 山梨県中巨摩郡昭和町押越542-2  
TEL. 055-275-2111 FAX. 055-275-2109  
<http://www.town.showa.yamanashi.jp/>  
(昭和町議会ホームページ)

発行人 / 議長 石原重夫  
編集 / 議会広報編集特別委員会

こういうことが決まりました 2~4ページ

意見書を提出 5ページ

3議員が一般質問 6~8ページ

委員会ればと 9ページ

視察研修報告 10~11ページ

議会のうごき 12ページ

# 決まりました

平成十八年十二月定例会は、十二月五日から八日まで、会期を四日間として開かれました。契約締結（変更）締結一件、条例制定三件、条例改正一件、一般・特別会計の補正予算五件、後期高齢者医療広域連合設立に伴う規約制定一件、甲府地区広域行政事務組合規約変更一件、監査委員の選任に同意を求める件の一三件が町長から提出され、いずれも原案どおり可決しました。議員提案された、道路特定財源確保に関する意見書は原案どおり可決しました。また、議員提案による議会の定数を定める条例改正案は、継続審査となりました。一般質問は、三人の議員が当面する重要な問題について活発な論議を展開しました。

## 一般会計補正予算

(第三号)

今回の補正予算(第三号)は、歳入歳出とも五億六、九四〇万三千円を補正増し、予算総額を八億七億一、三一八万九千円とするもので、全会一致で可決しました。

### 歳入(補正財源)

町税のうち法人町民税・増と、起債予定の事業費が確定した事業債、臨時財政対策債及び減税補てん債を充当したのが主な内容です。

### 歳出(使いみち)

本町のまちづくりに向けて、永年の懸案事業となっていた常永土地区画整理事業は、事業認可の見通しの中で関連経費を予算計上しました。

また、町民体育館は、アスベスト使用の施設であり、耐力度調査の結果でも危険改築・地震改築の必要性が示され、解体することが適当と判断しました。

解体後は新施設として、中学校も利用できる地域交流センターの建設を予定しています。このため解体設計および新施設の基本設計業務委託料などの経費を計上しました。

他は、緊急に必要な事業費を補正増しました。併せて契約差金等の不用額を処理し、剰余金として財政調整基金・公共施設整備等事業基金に積み立てるものです。

## 特別会計補正予算

国保会計(第二号)

歳入歳出とも四〇八万二千円を補正増し、予算総額を一三億七、七二五

万二千円とするものです。歳入では、国民健康保険税を一五八万二千円増額し、出産育児一時金の一般会計繰入金として、二五〇万円を増額補正しました。

歳出では、出産育児一時金を三七五万円増額し、十七年度医療費の確定による老人医療対策事業費補助金の返還金三三万二千円を増額補正し、全会一致で可決しました。

介護保険会計(第二号)

歳入歳出とも一、三一九万円を補正減し、予算総額を四億八、九六九万六千円とするものです。

歳入では、保険料の補正増と、保険給付費や予防事業の実施事業費を見込み、国・県負担金や補助金、支払基金交付金、繰入金を増額補正しました。

歳出でも、保険給付費や地域支援事業費の今後を見込み減額補正し、全会一致で可決しました。



教育厚生常任委員会

# 12月議会で こういうことが

## 介護サービス会計

(第一号)

歳入関係のみによる補正です。

要支援1・2の予防事業対象者が見込数を大幅に下回り、サービス収入を一七一万八千円減額補正していますが、この額に見合う分を一般会計繰入金で補てんするものであり、全会一致で可決しました。

## 下水道会計 (第二号)

歳入歳出とも七〇四万四千円を補正減し、予算総額を一〇億八、七七九万七千円とするものです。歳入では、国庫支出金の交付決定により八〇〇万円を増額する中で、一般会計からの繰入金一、二八四万四千円、町債二二〇万円をそれぞれ減額補正しました。歳出では、下水道事業費の流域下水道費九四万四千円、公共下水道費六一〇万円をそれぞれ減額補正し、全会一致で可決しました。

## 請負契約(変更)

町立押原中学校耐震補強・大規模改造及び増築工事請負契約(変更)

五月臨時議会で議決された、昭和町立押原中学校耐震補強・大規模改造及び増築工事は、杭の施工方法変更、消防からの指摘事項の手直し、学校

要望等の増工に伴い変更契約を締結するものです。全会一致で可決しました。

### 契約の目的

昭和町立押原中学校耐震補強・大規模改造及び増築工事(変更)  
契約金額  
変更前  
六億五、一〇〇万円

内消費税額  
三、一〇〇万円  
変更後  
六億八、七六七七七、五五〇円

### 内消費税額

三、二七四万六、五五〇円  
変更内容  
杭の施工方法変更、消防からの指摘事項の手直し等の増工

## 条例制定

昭和町ごみのないきれいなまちにする条例  
散乱ごみのない快適な生活環境の形成を目指すため、町民等、事業者、土地所有者等および町の責務を明らかにし、ごみ等のポイ捨て、ふん害の防止に關し必要な事項を定め、地域の環境美化を推進し、清潔で美しいまちづくりに資することを目的として、この条例を制定するもので、全会一致で可決しました。

昭和町地下水採取の適正化に關する条例  
地下水は現在および将来の町民生活に欠くことのできない貴重な資源であり、その賦存量に限りがある資源であることにかんがみ、地下水採取の適正化を図ることにより地下水資源を保護し、あわせて大量採取による地盤沈下を未然に防止し、

町民の健康で文化的な生活に寄与することを目的としてこの条例を制定する、もので、全会一致で可決しました。



きれいなまちづくりはその手から

# 12月議会で決まりました こういうことが



建設中の快適さを追求した新常永町営団地

昭和町公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例

地方自治法の規定に基づき、町が設置する公の施設の管理を行わせるため町長の指定の手続等に関し、必要な事項を定めるため条例を制定するもので、賛成多数（賛成一三人・反対一人）で可決しました。

## 条例改正

昭和町職員定数条例改正  
地方自治法の一部を改正、集中改革プランによる定員適正化計画および職員数の広域連合への派遣予定等に伴い、昭和町職員定数条例の一部を改正するもので、全会一致で可決しました。

## その他

山梨県後期高齢者医療広域連合の設立に伴う規約制定  
七五歳以上の後期高齢者の医療保険を、全県下で一元化して広域的に処理するため規約制定するもので全会一致で可決しました。

甲府地区広域行政事務組合の規約変更  
全会一致で可決

監査委員に  
内藤寛之氏を選任



内藤寛之氏

（選任に同意）

監査委員の鷹野敏夫氏の死去に伴い、新たに内藤寛之氏の選任に同意しました。

## 第3回臨時会

十月三十日に開会され、契約締結二件が提案され、いずれも原案どおり可決しました。

（10月30日）

### 契約締結

押原公園外周道路整備 昭和町営常永団地建替（第一期）新築工事請負契約  
（第二工区）請負 一期）新築工事請負契約

指名競争入札された請負契約を締結するため、議会の議決を求められ、賛成多数（賛成十四人）で可決しました。  
指名競争入札された請負契約を締結するため、議会の議決を求められ、賛成多数（賛成十三人・反対一人）で可決しました。

- |           |            |       |                          |
|-----------|------------|-------|--------------------------|
| 契約の目的     | 押原公園外周道路整備 | 契約の目的 | 昭和町営常永団地建替（第一期）新築工事      |
| 備工事（第二工区） |            | 契約金額  | 八億一、九〇〇万円                |
| 契約金額      | 六、六八八万五千元  | 契約の相手 | 三井建設工業・昭和建設工業・興龍社        |
| 契約の相手     | 長田組土木・平田興業 | 契約の相手 | 昭和町営常永団地建替（第一期）新築工事共同企業体 |
| 共同企業体     |            |       |                          |

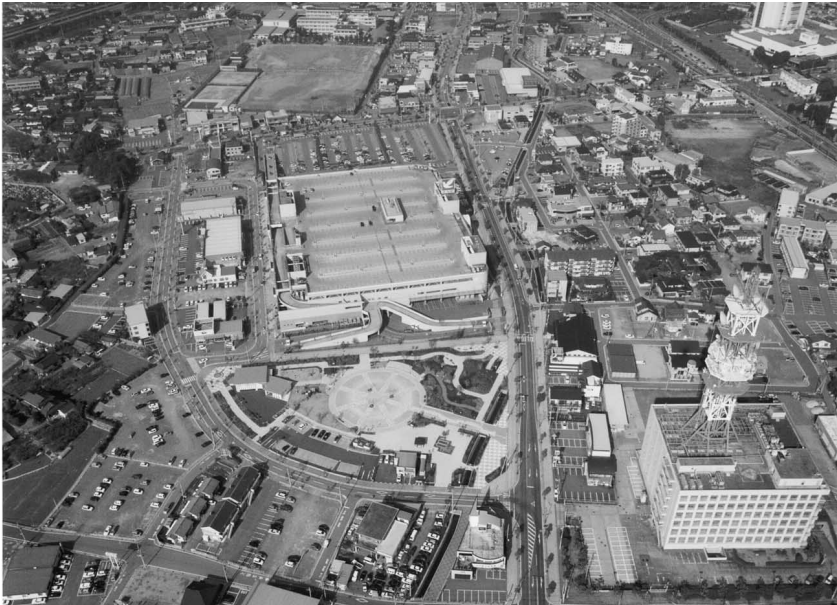
# 議員提出議案

〔採択〕

道路特定財源確保に関する意見書が塚原博明議員から所定の賛成議員とともに提出され、本会議で賛成多数（賛成十三人・反対一人）、で採択され、関係大臣に提出しました。

## 道路特定財源確保に関する意見書

道路は、豊かな国民生活や活力ある経済、社会活動を支える最も基本的な社会資本であり、高齢化、少子化が進展している中で、二十一世紀の社会基盤を計画的に充実させるためにも、道路整備は一層重要となっている。特に、地方においては、



住みよいまちづくりは道路整備から

道路整備がまだ十分でないことから、活力ある地域づくりや豊かな暮らしづくりを支援し、地域振興を図るためにも、また、防災及び緊急救急医療体制を整備する上でも高規格幹線道路から生活道路に至る道路網の整備が課題となっている。

本町においては、人や物の移動のほとんどを自動車交通に頼っている状況にもかかわらず、道路整備が依然として立ち後

れており、その整備を望む住民の声は非常に強く、真に生活の豊かさやゆとりを実現し、活力と個性にあふれた地域づくりを進めるため、道路整備は重要かつ喫緊の課題となっている。さらに、東海地震や富士山噴火などに対応する緊急避難道路の整備も急がれている。

政府は、平成十七年十二月に「道路特定財源の見直しに関する基本方針」を決定し、道路特定財源の暫定税率を維持した上で一般財源化を前提に具

体的、効率的に行うためには、道路特定財源の確保は必要不可欠である。よって、国においては、活力ある地域ネットワークを構築し、国土の均衡ある発展を実現するため下記の措置を講ずるよう強く要請する。

### 記

- 一 活力ある地域づくりを推進するため道路整備の促進を図るものとし、「社会資本整備重点計画」に基づき、地域住民が期待する道路整備を効果的かつ効率的に推進すること
- 二 受益者負担の制度にのっとり、道路整備を強力に推進するため、自動車重量税を含む道路特定財源は一般財源化することなくすべて道路関係事業に充当すること
- 三 地方の道路整備の財源については引き続き国が責任を持ち、地方の裁量を高めながら、地域の課題に対応した整備を進められるよう必要な額を確保すること

以上、地方自治法第九九条の規定により意見書を提出する。

平成十八年十二月八日

山梨県中巨摩郡

昭和町議会議長

石原 重夫

提出先

衆議院議長

参議院議長 河野 洋平

内閣総理大臣 扇 千景

総務大臣 安倍 晋三

国土交通大臣 菅 義偉

冬柴 鉄三

尾身 幸次

財務大臣

# 町政を問う ここが聞きたい!



親子のふれあい

## Q いじめ防止の取り組みは

### A 町内4校にいじめ問題なし



深澤 平助 議員

問 今、子供がいじめに  
よって自殺するという事  
件が相次ぎ、大きな社会  
問題になっています。

昭和町の学校教育のあ  
り方について、時の教育  
長に質問したことがあります。

ます。若尾教育長はこう  
答弁しました。「大事な  
ことは、すべての教師が  
児童・生徒との触れ合い  
をもっともつと多くして  
個々の生徒をよく知るこ  
と、そして、子供同士の  
対人関係をよく理解して  
おくこと。また、どのよ  
うな小さな事件であつて  
も全職員が共通の理解を  
持つて一致協力して取り  
組む体制が必要。この点  
では、押原中学校  
では一生懸命頑張  
っています。また、  
生徒の間では学級  
活動でお互いの人  
権を尊重して、い  
じめなどがあつた  
らそれをとめる。  
とめることができ  
るような明るい学  
級づくり、これが  
大事です」。

かつて若尾教育  
長が答弁した内容  
がしっかりと保障さ  
れているのかどう  
か、伺います。  
教育長 平成四年  
六月の当議会で、  
時の若尾教育長が  
答弁されたことは、

昭和教育の実践理念にも  
受け継がれており、各学  
校とも明るい学級づくり  
をしていくために努めて  
いるところです。  
なお、十二月六日、本  
日現在、町内の四校では  
いじめ問題は起こって  
いません。

教育委員会としては、  
日ごろから学校の実態把  
握に努め、学校や保護者  
からいじめの訴えがあつ  
た場合には、学校への支  
援や保護者への対応に万  
全を期していきたいと考  
えています。

## 嘱託職員の 解雇問題

問 この問題についてあ  
えて質問するのは、この  
議会が佐野町長にとつて  
は最後の議会ということ  
になりますので、責任あ  
る答弁をお願いします。  
最高裁へ上告するとい  
うことは余りにも理不  
尽なことであり、時間稼  
ぎとしか言いようがなく、  
まさに本町の歴史に大き  
な汚点を残したというべ  
きです。

ば最高裁の判決を待つま  
でもなく、この場におい  
て二人の嘱託職員に謝罪  
し、あわせて町民に対し  
てもはつきりした説明を  
行うべきではないですか。  
違法性はない  
町長 私は一貫して一審  
から、町長としての職責  
を果たすための正当な職  
務行為であり、違法性は  
ないものと信じて訴えて  
きました。  
このたびの判決は何点  
かの法令解釈等の誤りが  
あると思われまますので、  
上告に至っていますが、  
ぜひご理解をいただきた  
いと思います。

## (再質問)

問 町長に良心があるな  
らば、自分の非を認め、  
二人に謝罪し、住民に説  
明責任を果たすべきです。  
改めて答弁を求めます。  
町長 先ほども申したよ  
うに、町長という立場で  
ここまで上告しているわ  
けであり、決して私自身  
も間違っているとは思っ  
ていません。

町長、良心があるなら

# 一般質問

## Q 学童保育の強化推進を

### A

### いきいき健康課と連携して進める



河田 あけみ 議員

問 今年の夏「文部科学省と厚生労働省は来年度から全国すべての公立小学校で放課後も児童を預かることを決めた」と報道されました。全国的に起きている事件や事故をみると、これは保護者には朗報と思われず。

そこで、学童保育からあふれた児童、またそれ以上の学年すべての子どもたちの、放課後対策を一層充実・強化するために、この「放課後子どもプラン」が町内の学校でも推進されれば、子どもの安心・安全確保につながると思います。本町としてはどのように取り組んでいくのか伺います。

教育長 教育委員会では児童、保護者にも定着した現行の昭和町ウイークエンドスクールを、青少年対象の社会教育の一環と位置づけ、予算化し、継続開催する中で一層の充実、推進を図る方が、本町の実態に合った豊かで多岐な子供たちの放課後対策になるものと考えています。

(再質問)

問 現在の状況として、学童保育の定員は、保護者の期待に応え切れていないのでしょうか。

来年度の新生児について対応はどうか。

教育長 「学童保育」と、学童がつきますから、教育委員会の感じがします。が、実際は児童館等にかかわることですから、私どもから要望等を取りまとめるということは、今のところ行っていません。が、いきいき健康課とも



幼児と児童の合同クリスマス会

連携をして、学童保育の枠および内容等の充実に ついて、相談はしていきたいと思っております。

(再々質問)

問 それでは、いきいき健康課の大原課長に、この点について答弁をお願いします。

いきいき健康課長 今、町の留守家庭児童学級と学童保育は、三年生まで受け入れています。四月の当初ではお断りした方はほとんどいなくて、大体五〇人定員で四館、児童センターもありますので一五七人という人数を

受け入れてやっています。十九年度は二三七人が入学することを聞いていますが、今、昭和町で措置している保育所へ、通っている広域も含めて、一年生になる方が一四五人という数になっています。この一四五人が保育に欠ける子供ということで、保育園へも入っていますので、小学校へも入ってくるのかな、学童保育の希望があるのかなと思います。けれども、一月から二月にかけて、留守家庭児童学級の入級の説明会をしまして、要望、希望をとる予定であり、そういう中で対応していきたいと考えています。





# 委員会 れぽ〜と

## 水源対策 特別委員会

委員長 河田あけみ  
水源対策特別委員会は、十二月五日午前十一時四十分に開会し、産業課長から昭和町地下水採取の適正化に関する説明を受けました。  
その他の問題は継続調査と決しました。

## 地方分権対策 特別委員会

委員長 井上 仲千  
地方分権対策特別委員会は、十二月六日午後二時三十分開会し、昭和町議会の議員定数を定める条例改正の協議並びに昭和町公の施設の指定管理者制度の導入に関する指針と、平成十九年四月一日から施行される常任委員会制度の説明を受けました。  
その他の問題は継続調査と決しました。

## 教育厚生 常任委員会

委員長 三井 猛  
十二月六日午後四時に開会し、委員会に付託された昭和町ごみのないきれいなまちにする条例、国民健康保険特別会計補正予算、介護保険特別会計補正予算、介護サービス特別会計補正予算、山梨県後期高齢者医療広域連合の設立に伴う規約制定並びに総務常任委員長から審査依頼された一般会計補正予算の中で、当委員会に係る部門について審査し、原案どおり可決しました。  
また、こどもの虐待のよすの調査報告と、いじめ問題への取り組みについて報告を受けました。  
また、総務常任委員会終了後、町民体育館の解体に関する説明を受けながら視察をしました。



町民体育館の解体工事説明を聞く議員

## おもな質疑

問 義清神社の石碑は文化財指定できるか。  
答 現地調査して検討する。  
問 押原公園の埋蔵調査は。  
答 指定個所には入っていない。

## 産業土木 常任委員会

委員長 志村 茂  
十二月七日午前九時三十分開会し、委員会に付託された地下水採取の適正化に関する条例制定、下水道事業特別会計補正予算、総務常任委員長から審査依頼された一般会計補正予算の中で、当委員会に係る部門について審査し、原案どおり可決しました。  
また、道路特定財源確保に関する意見書は採択としました。

## おもな質疑

問 ハザードマップの完成は。  
答 十九年三月を目安に着手している。

## 総務 常任委員会

委員長 鷹野 一雄  
十二月七日、午後一時三十分から開会され、当委員会に付託された昭和町立押原中学校耐震補強・大規模改造及び増築工事請負契約(変更)締結、昭和町公の施設の指定管理者の指定手続等に関する条例制定、昭和町職員定数条例改正、甲府地区広域行政事務組合規約変更、昭和町一般会計補正予算について、慎重審査の結果、原案どおり可決すべきものと決しました。  
また、昭和町議会の議員定数を定める条例改正について慎重審査の結果、継続審査と決しました。



# 委員会 **合同** 研修報告

教育厚生・産業土木・総務常任委員会



国会議事堂前にて

## 国会を見学

昭和町議会では、議員としての見識を高め、資質の向上を図るため、平成十八年十一月二十九日に国会議事堂を視察し、今後の議員活動の糧としました。

## 町民とのパイプ役に

（ 神奈川県葉山町議会 ）

### 広報編集特別・議会運営委員会

議会運営委員会・議会広報編集特別委員会では、合同研修として神奈川県葉山町議会を平成十八年十一月九日に訪ねて研修し、見聞を広げてきました。

葉山町議会は、定数一七人中七人が女性で、しかも女性が議長であり、まさに男女共同参画の日本の町でした。

相模湾に接し日本ヨット発祥の地として栄え、観光の町として人口も増加傾向にあり、御用邸や有名人の保養所もあり、風光明媚な町として発展しています。

葉山町議会では、昭和六十年から議会だよりを発行しており、前号の反省会后、役割分担を決め、議員自らが写真・構成等にかかわり、記事内容に合ったもの、表情や動きのあるものを決定し、各委員が読み回しをし、そ



親しみやすい広報づくりへ意見交換

の後清書すること、編集特別委員としての活動状況、町民に親しまれやすく読みやすい紙面づく

くりで、議会と町民の掛け橋を担う議会だよりを目指しており、新聞折込みや声の広報も発行し、親しみやすい広報づくりを推進しています。意見交換をしたことを、今後の広報だよりに生かしていきたいと思えます。

### 12月議会の会期日程

第一日目

12月5日（火）

議員協議会

開会

・本会議

・会議録署名議員の指名

・会期の決定

・諸報告

・議案の上程、質疑

・各委員会付託

水源対策特別委員会

第二日目

12月6日（水）

・本会議 一般質問

地方分権対策

特別委員会

教育厚生常任委員会

第三日目

12月7日（木）

教育厚生常任委員会

産業土木常任委員会

総務常任委員会

第四日目

12月8日（金）

議会運営委員会

議員協議会

・本会議

・委員長報告

・質疑、討論、採決

閉会

# 議会のうごき

## 県町村議会議長会関係

### 10月

- ・ 第三回町村議会議長会議
- ・ 町村議会議員研修
- ・ 町村議会広報編集委員長会議

### 11月

- ・ 町村議会広報編集委員長行政視察研修
- ・ 市町村総合事務組合議会定例会
- ・ 町村議会広報コンクール表彰式及び研修会
- ・ 町村議会議長全国大会
- ・ 山梨県市町村自治講演会

### 12月

- ・ 第三回町村議会運営委員長会議
- ・ 第2回町村議会広報編集委員長会議
- ・ 町村議会広報研修会
- ・ 町村監査委員協議会第1回理事会
- ・ 町村議会運営委員研修会

## その他

### 9月

- ・ 西条二区、河西区、上河東区敬老会
- ・ 飯喰区運動会
- ・ 押越区、西条新田区、築地新居区敬老会
- ・ 第二回いきがい大学講座
- ・ 町内三小学校運動会
- ・ 清水新居区運動会
- ・ 第五回厚生事業策定懇話会
- ・ 昭和町環境保全推進大会
- ・ 西条、押原、上河東、第二上河東保育園、かおり幼稚園運動会

### 10月

- ・ 紙漉阿原区、上河東二区運動会
- ・ 第四十二回昭和町文化祭
- ・ 町政施行三十五周年記念式典
- ・ ふるさとふれあいまつり
- ・ 第八回関東学童軟式野球秋季大会
- ・ 常永保育園運動会
- ・ 昭和町球技大会
- ・ 国民健康保険運営協議会委員研修会
- ・ 西条新田区運動会
- ・ 南アルプス市市政三周年記念式典
- ・ 例月出納検査
- ・ 第二回昭和町国民保護協議会
- ・ 平成十八年度男女共同参画のための「トップセミナー」
- ・ 議員視察研修



新春に羽ばたく新成人

- ・ 親子ふれあいます釣り大会

### 11月

- ・ 中央市たとみ稲穂まつり
- ・ 昭和町スポーツフェスティバル
- ・ 第二回昭和町ハザードマップ検討委員会
- ・ 議会運営委員会・広報編集特別委員会合同研修
- ・ 昭和町有財産払下げ価格審査委員会
- ・ 昭和町環境保全推進協議会県外研修
- ・ 定期監査
- ・ 中央市とよとみ与一公まつり
- ・ 峡中地区戦没者遺族大会
- ・ 例月出納検査
- ・ 平成十八年度峡中地区戦没者遺族大会
- ・ 町営住宅「常永団地」起工式
- ・ 昭和町・中央市・甲斐市議会正副議長・事務局会議
- ・ 委員会合同研修

### 12月

- ・ 安協昭和支部忘年会

## 編集雑感

新年明けましておめでとございます。

町民の皆様には、輝かしい新春をご家族お揃いでお迎のことと心からお慶びを申し上げます。

本年も、皆様にとって、いい年でありますよう猪突猛進して、一年を乗り切ってくださいたいと思います。

さて、当特別委員会では、昨年十一月開催の第二十四回山梨県町村議会広報コンクールにおいて、写真部門で高評価を得て当議会広報 一七八号が奨励賞を受賞いたしました。これを糧にこれからも住民に親しまれる広報を目指しますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

次回の議会定例会は、三月上旬を予定しております。傍聴を希望される方は、事務局までお問合せください。

議会事務局

二七五 二一一

(内線二七〇)